

学期	月	時限	教科書ページ	項目(タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
第1部 地図でとらえる現代世界						
第1章 地図と地理情報システム						
					第1章の目標 ①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	第1章の評価規準 ①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1節 地球上の位置と時差						
1学期	4	1	p.6-7	1 地球上の位置と私たちの生活	緯度の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 ②緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。
1学期	4	1	p.8	2 時差と私たちの生活	時刻の違い(時差)は、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①時差のしくみ、時差が生活に与える影響について理解している。 ②時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2節 地図の役割と種類						
1学期	4	2	p.10-11	1 地球儀と地図	なぜ地図にはさまざまな図法があるのだろうか。	①球体の地球と平面の地図、さまざまな図法(図法)について理解している。 ②球体の地球と平面の地図、さまざまな図法(図法)について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③球体の地球と平面の地図、さまざまな図法(図法)について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	4	2	p.12-13	2 身の回りの地図	主題図と一般図には、それぞれどのような表現方法や用途があるのだろうか。	①身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について理解している。 ②身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	4	3	p.16-17	3 統計地図の種類と利用	統計地図にはどのような種類があり、どのように使い分けられているのだろうか。	①統計地図の種類、統計地図の比較と使い分けについて理解しており、基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ②統計地図の種類、統計地図の比較と使い分けについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③統計地図の種類、統計地図の比較と使い分けについて、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	4	4	p.20-21	4 地理情報システム(GIS)の活用	地理情報システム(GIS)は、どのように活用されているのだろうか。	①地理情報システム(GIS)のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について理解しており、基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ②地理情報システム(GIS)のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地理情報システム(GIS)のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
第2章 結び付きを深める現代世界						
					第2章の目標 ①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	第2章の評価規準 ①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1節 現代世界の国家と領域						
1学期	4	5	p.28-29	1 現代世界の国家	国家の領域や国境にはどのような決まりがあるのだろうか。	①国境の種類、国家の領域、国家の主権について理解している。 ②国境の種類、国家の領域、国家の主権について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国境の種類、国家の領域、国家の主権について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	4	5	p.30-31	2 日本の位置や領域	日本の位置や領域、排他的経済水域にはどのような特徴があるのだろうか。	①日本の位置と領域、排他的経済水域の特徴、日本の領土をめぐる問題について理解している。 ②日本の位置と領域、排他的経済水域の特徴、日本の領土をめぐる問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の位置と領域、排他的経済水域の特徴、日本の領土をめぐる問題について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2節 グローバル化する世界						
					節の主題 グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など、世界の国々を結び付ける要素には変化がみられる。世界の国々は、これらの要素によってどのように結び付いているのだろうか。	
1学期	5	6	p.32-33	1 国家間の結び付き	世界の国々の結び付きは、時代とともにどのように変化してきたのだろうか。	①国際関係と紛争の変化、国連が果たす役割、経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結び付きについて理解している。 ②国際関係と紛争の変化、国連が果たす役割、経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結び付きについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国際関係と紛争の変化、国連が果たす役割、経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結び付きについて、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	5	6	p.34-35	2 貿易によって結び付く世界	世界の国々で行われている貿易には、どのような特徴や課題があるのだろうか。	①暮らしを支える貿易、貿易の変化と国際分業の成立、自由化する世界の貿易について理解している。 ②暮らしを支える貿易、貿易の変化と国際分業の成立、自由化する世界の貿易について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③暮らしを支える貿易、貿易の変化と国際分業の成立、自由化する世界の貿易について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	5	7	p.36-37	3 さまざまな交通網の発達	私たちの生活を支える交通網は、どのように発達してきたのだろうか。	①世界を結ぶ航空交通の発達、貿易を支える海上交通の発達、陸上交通の発達と変化について理解している。 ②世界を結ぶ航空交通の発達、貿易を支える海上交通の発達、陸上交通の発達と変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界を結ぶ航空交通の発達、貿易を支える海上交通の発達、陸上交通の発達と変化について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	5	7	p.38-39	4 世界を結ぶ通信網の発達	通信網の発達により、私たちの生活はどのように変化しているのだろうか。	①通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活行動、情報通信技術が生み出す格差について理解している。 ②通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活行動、情報通信技術が生み出す格差について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活行動、情報通信技術が生み出す格差について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	5	8	p.40-41	5 観光のグローバル化	グローバル化によって、観光はどのように変化してきたのだろうか。	①観光のグローバル化、多様化する観光のスタイルについて理解している。 ②観光のグローバル化、多様化する観光のスタイルについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③観光のグローバル化、多様化する観光のスタイルについて、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
第2部 国際理解と国際協力						

学期	月	時限	教科書ページ	項目(タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
第1章 生活文化の多様性と国際理解 第1章の目標 ①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ②世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。						
序説 生活文化の多様性						
1学期	5	9	p.44-45	1 生活文化を考察する方法	世界各地の多様な生活文化を考察するには、どのような方法があるのだろうか。	①生活文化を考察する方法、国際理解の重要性について理解している。 ②生活文化を考察する方法、国際理解の重要性について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活文化を考察する方法、国際理解の重要性について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1節 世界の地形と人々の生活 節の主題 地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形がある。人々はこうした地形とどのように関わり合っているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。						
1学期	5	10	p.46-47	1 大地形と人々の生活	大地形は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	①生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。 ②生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	5	10	p.48-49	2 変動帯と人々の生活	変動帯の地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について理解している。 ②変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	5	11	p.50-51	3 安定地域と人々の生活	安定地域の地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①安定地域の平野と生活への影響、安定地域の山地と生活への影響について理解している。 ②安定地域の平野と生活への影響、安定地域の山地と生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③安定地域の平野と生活への影響、安定地域の山地と生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	5	12	p.52-53	4 河川がつくる地形と人々の生活	河川がつくる地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①河川がつくる地形と生活の関わり、上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について理解している。 ②河川がつくる地形と生活の関わり、上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③河川がつくる地形と生活の関わり、上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	6	12	p.54-55	5 海岸の地形と人々の生活	海岸がつくる地形には、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①海の恵みを生かした産業、海岸の地形と生活の関わりについて理解している。 ②海の恵みを生かした産業、海岸の地形と生活の関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③海の恵みを生かした産業、海岸の地形と生活の関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	6	13	p.56-57	6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活	氷河・乾燥・カルスト地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①氷河地形と生活の関わり、カルスト地形と生活の関わり、乾燥地形と生活の関わりについて理解している。 ②氷河地形と生活の関わり、カルスト地形と生活の関わり、乾燥地形と生活の関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③氷河地形と生活の関わり、カルスト地形と生活の関わり、乾燥地形と生活の関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2節 世界の気候と人々の生活 節の主題 気温や降水、風などの気候要素は場所によって異なる。人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わり合っているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。						
1学期	6	14	p.60-61	1 気温・降水と人々の生活	気温や降水は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解している。 ②気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	6	15	p.62-63	2 大気大循環と人々の生活	風は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風(モンスーン)のしくみと生活への影響について理解している。 ②大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風(モンスーン)のしくみと生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風(モンスーン)のしくみと生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	6	16	p.64-65	3 世界の植生と気候区分	世界の植生は、気候とどのように関わり合っているのだろうか。	①植生と気候の関わり、ケッペンの気候区分について理解している。 ②植生と気候の関わり、ケッペンの気候区分について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③植生と気候の関わり、ケッペンの気候区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	6	17	p.68-69	4 熱帯の生活	熱帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	①高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。 ②高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	6	17	p.70-71	5 乾燥帯の生活	乾燥帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	①水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。 ②水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	6	18	p.72-73	6 温帯の生活	温帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	①季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。 ②季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	6	18	p.74-75	7 亜寒帯・寒帯の生活	亜寒帯・寒帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	①冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。 ②冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
追究事例 自然1 乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 一オセアニア 主題 乾燥した大陸と多くの島々からなるオセアニアは、地形や気候が多様である。このような自然環境を生かして、どのような生活文化や産業が育まれてきたのだろうか。						
1学期	7	19	p.78-79	1 人々をひきつける多様な自然環境	多様な自然環境は、人々の暮らしにどのような影響を与えているのだろうか。	①多くの観光客を魅了する自然環境、安定地域が広がる大陸と起伏に富んだ島々、地域によって大きく異なる気候について理解している。 ②多くの観光客を魅了する自然環境、安定地域が広がる大陸と起伏に富んだ島々、地域によって大きく異なる気候について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③多くの観光客を魅了する自然環境、安定地域が広がる大陸と起伏に富んだ島々、地域によって大きく異なる気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	7	20	p.80-81	2 自然環境を生かした産業と人々の生活	オセアニアの人々は、自然環境をどのように産業に生かしているのだろうか。	①自然環境を生かした農業と食生活、自然環境を生かしたオーストラリアの鉱工業について理解している。 ②自然環境を生かした農業と食生活、自然環境を生かしたオーストラリアの鉱工業について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境を生かした農業と食生活、自然環境を生かしたオーストラリアの鉱工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

学期	月	時限	教科書ページ	項目(タイトル)	学習課題	評価規準の具体例
追究事例 自然2 モンスーンの影響を受ける地域での生活 -東南アジア-						
1学期	7	19	p.82-83	1 モンスーンの影響を受けてきた人々の生活	主題 東南アジアは、季節風(モンスーン)の影響を強く受けてきた地域である。このような気候を生かして、東南アジアではどのような生活文化が育まれてきたのだろうか。	①知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度 ①季節風(モンスーン)の影響を受ける人々の生活、モンスーンを利用した交易の歴史、さまざまな民族が共に暮らす社会について理解している。 ②季節風(モンスーン)の影響を受ける人々の生活、モンスーンを利用した交易の歴史、さまざまな民族が共に暮らす社会について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③季節風(モンスーン)の影響を受ける人々の生活、モンスーンを利用した交易の歴史、さまざまな民族が共に暮らす社会について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	7	20	p.84-85	2 気候を生かした農業と人々の生活	東南アジアでは、気候を生かしてどのような農業が発達してきたのだろうか。	①季節風(モンスーン)を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について理解している。 ②季節風(モンスーン)を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③季節風(モンスーン)を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3節 世界の言語・宗教と人々の生活						
節の主題 世界には、日本とは異なる言語を話す民族が存在し、さまざまな宗教が信仰されている。言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。						
1学期	7	21	p.86-87	1 世界の言語と人々の生活文化	言語は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への影響について理解している。 ②言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	7	22	p.88-89	2 世界の宗教と人々の生活文化	宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①宗教の食生活への影響、宗教と生活の関わりについて理解している。 ②宗教の食生活への影響、宗教と生活の関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③宗教の食生活への影響、宗教と生活の関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
追究事例 宗教1 イスラームと人々の生活の関わり -中央アジア・西アジア・北アフリカ-						
1学期	7	23	p.90-91	1 イスラームを中心とした生活文化	イスラームは、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①ムスリムの生活、三つの言語集団と生活習慣の地域差について理解している。 ②ムスリムの生活、三つの言語集団と生活習慣の地域差について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ムスリムの生活、三つの言語集団と生活習慣の地域差について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	7	23	p.92-93	2 乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化	乾燥地域で暮らすムスリムは、どのような生活文化を育んできたのだろうか。	①オアシス都市で発達したイスラーム、乾燥した地域での暮らし、乾燥した地域での農業について理解している。 ②オアシス都市で発達したイスラーム、乾燥した地域での暮らし、乾燥した地域での農業について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③オアシス都市で発達したイスラーム、乾燥した地域での暮らし、乾燥した地域での農業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	7	24	p.94-95	3 変化するムスリムの生活	国の経済が発展するなかで、ムスリムの生活はどのように変化しているのだろうか。	①人々の生活を豊かにした石油資源、石油収入がもたらした生活の変化について理解している。 ②人々の生活を豊かにした石油資源、石油収入がもたらした生活の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人々の生活を豊かにした石油資源、石油収入がもたらした生活の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
追究事例 宗教2 ヒンドゥー教と人々の生活の関わり -インド-						
主題 インドには、大勢のヒンドゥー教徒が暮らしている。インドの人々の暮らしに、ヒンドゥー教はどのように関わっているのだろうか。						
1学期	7	23	p.96-97	1 インドの歩みとヒンドゥー教	ヒンドゥー教は、人々の職業や社会進出にどのような影響を与えているのだろうか。	①南アジアの民族と歩み、ヒンドゥー教と人々の生活への影響、多様な言語について理解している。 ②南アジアの民族と歩み、ヒンドゥー教と人々の生活への影響、多様な言語について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③南アジアの民族と歩み、ヒンドゥー教と人々の生活への影響、多様な言語について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	7	23	p.98-99	2 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活	ヒンドゥー教や自然環境は、人々の食生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①宗教や農作物からみる食生活、巨大な人口を支える農業改革、畜産の発達と食生活の変化について理解している。 ②宗教や農作物からみる食生活、巨大な人口を支える農業改革、畜産の発達と食生活の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③宗教や農作物からみる食生活、巨大な人口を支える農業改革、畜産の発達と食生活の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	7	24	p.100-101	3 変化するヒンドゥー教徒の生活	経済成長により、ヒンドゥー教の影響を受けた生活は、どのように変化しているのだろうか。	①ICT産業の発展、成長するインドの工業、経済成長による生活の変化について理解している。 ②ICT産業の発展、成長するインドの工業、経済成長による生活の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ICT産業の発展、成長するインドの工業、経済成長による生活の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
4節 歴史的背景と人々の生活						
節の主題 世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきた。このような歴史的な背景は、人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。						
2学期	9	25	p.102-103	1 歴史的背景が人々の生活に与える影響	さまざまな歴史的背景は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。	①生活文化に影響した歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について理解している。 ②生活文化に影響した歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活文化に影響した歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
追究事例 歴史1 移民の歴史と人々の生活の関わり -ラテンアメリカ-						
主題 ラテンアメリカには、さまざまな地域の人々が移り住んできた。多様な文化の融合によって、どのような生活文化が形成されてきたのだろうか。						
2学期	9	26	p.104-105	1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化	さまざまな民族の流入は、人々の生活文化にどのような影響を与えているのだろうか。	①ラテンアメリカの成り立ちとラテン文化の形成、地域で異なる民族構成について理解している。 ②ラテンアメリカの成り立ちとラテン文化の形成、地域で異なる民族構成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ラテンアメリカの成り立ちとラテン文化の形成、地域で異なる民族構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2学期	9	27	p.106-107	2 大土地所有制が生み出した社会構造	ヨーロッパから持ち込まれた大土地所有制によって、どのような社会が生まれたのだろうか。	①大土地所有制による農業と社会構造、先住民の暮らしと伝統的な農業について理解している。 ②大土地所有制による農業と社会構造、先住民の暮らしと伝統的な農業について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③大土地所有制による農業と社会構造、先住民の暮らしと伝統的な農業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2学期	9	28	p.108-109	3 外国資本による工業化と生活の変化	外国資本による工業化は、人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか。	①鉱産資源を基盤とした工業化、経済発展による生活の変化について理解している。 ②鉱産資源を基盤とした工業化、経済発展による生活の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③鉱産資源を基盤とした工業化、経済発展による生活の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
追究事例 歴史2 植民地支配の歴史と人々の生活の関わり -サハラ以南アフリカ-						
主題 サハラ以南アフリカでは、植民地支配を受けた国が多い。植民地支配の歴史と人々の生活文化や産業は、どのように関わっているのだろうか。						
2学期	9	26	p.110-111	1 生活文化に残る旧宗主国の影響	植民地支配の歴史は、人々の生活文化にどのような影響を与えているのだろうか。	①西アフリカにみる旧宗主国の影響、植民地支配の歴史と人々の生活文化への影響について理解している。 ②西アフリカにみる旧宗主国の影響、植民地支配の歴史と人々の生活文化への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③西アフリカにみる旧宗主国の影響、植民地支配の歴史と人々の生活文化への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2学期	9	27	p.112-113	2 植民地支配の影響が残るアフリカの産業	植民地支配の歴史は、現在のアフリカの産業にどのような影響を与えているのだろうか。	①商品作物にみる植民地支配の歴史の影響、一次産品への依存が強い産業について理解している。 ②商品作物にみる植民地支配の歴史の影響、一次産品への依存が強い産業について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③商品作物にみる植民地支配の歴史の影響、一次産品への依存が強い産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

学期	月	時限	教科書ページ	項目(タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
2 学期	9	28	p.114-115	3 人々の生活の変化と経済成長への取り組み	人々の生活はどのように変わり、経済成長に向けてどのような取り組みが行われているのだろうか。	①携帯電話の普及による生活の変化、都市への人口集中、経済成長に向けた取り組みについて理解している。 ②携帯電話の普及による生活の変化、都市への人口集中、経済成長に向けた取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③携帯電話の普及による生活の変化、都市への人口集中、経済成長に向けた取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
追究事例 歴史3 国家体制の変化と人々の生活の関わり -ロシア-				主題 ロシアはかつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めている。国家体制の変化は、人々の生活や社会にどのような影響を与えたのだろうか。		
2 学期	9	26	p.116-117	1 国家体制の変化が人々の生活に与えた影響	国家体制が激変したロシアでは、人々の生活にどのような変化が生じたのだろうか。	①国家体制の転換と人々の生活の変化、ロシアの文化と多様な民族について理解している。 ②国家体制の転換と人々の生活の変化、ロシアの文化と多様な民族について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国家体制の転換と人々の生活の変化、ロシアの文化と多様な民族について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 学期	9	27 28	p.118-119	2 変化するロシアの産業	国家体制が変わるなかで、ロシアの産業はどのように変化したのだろうか。	①ダーチャが支える食生活、経済成長と産業の変化、格差の拡大について理解している。 ②ダーチャが支える食生活、経済成長と産業の変化、格差の拡大について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ダーチャが支える食生活、経済成長と産業の変化、格差の拡大について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
5節 世界の産業と人々の生活				節の主題 人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきた。産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。また、産業のグローバル化によって、人々の生活はどのように変化してきたのだろうか。		
2 学期	9	29	p.120-121	1 人々の生活を支える農業の発展	農業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について理解している。 ②人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 学期	9	30	p.122-123	2 人々の生活を支える工業の発展	工業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差について理解している。 ②工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 学期	9	31	p.124-125	3 グローバル化する現代の産業と人々の生活	産業のグローバル化は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	①企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活について理解している。 ②企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
追究事例 産業1 産業力が世界の生活文化に与える影響 -アメリカ合衆国-				主題 アメリカ合衆国では、世界標準の工業製品が生み出されたり、世界の食を支える農産物が生産されたりしている。この国の産業は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。		
2 学期	10	32	p.126-127	1 世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源	アメリカ合衆国の知識産業や鉱工業は、世界にどのような影響を与えているのだろうか。	①世界標準を生み出すICT産業、産業構造の変化とサンベルトの台頭、シェール革命が世界に与えた影響について理解している。 ②世界標準を生み出すICT産業、産業構造の変化とサンベルトの台頭、シェール革命が世界に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界標準を生み出すICT産業、産業構造の変化とサンベルトの台頭、シェール革命が世界に与えた影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 学期	10	33	p.128-129	2 世界の食卓に影響を与える農業	アメリカ合衆国の農業は、世界の人々の食生活や農業にどのような影響を与えているのだろうか。	①世界の穀物市場を動かす穀物メジャー、適地適作の農業と大規模農業の課題について理解している。 ②世界の穀物市場を動かす穀物メジャー、適地適作の農業と大規模農業の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の穀物市場を動かす穀物メジャー、適地適作の農業と大規模農業の課題について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 学期	10	34	p.130-131	3 産業の発展を支えてきた移民の力	アメリカ合衆国の産業力は、どのような社会的背景の下で育まれてきたのだろうか。	①集まる世界の人材、移民国家としての発展、多民族国家で生まれた文化について理解している。 ②集まる世界の人材、移民国家としての発展、多民族国家で生まれた文化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③集まる世界の人材、移民国家としての発展、多民族国家で生まれた文化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
追究事例 産業2 経済成長による人々の生活の変化 -東アジア-				主題 東アジアは第二次世界大戦後に急速に経済成長が進んだ地域である。中国や韓国などでは、どのような生活文化がみられ、経済成長の影響を受けて、どのように変化しているのだろうか。		
2 学期	10	32	p.132-133	1 東アジアの経済成長とその歩み	東アジアの国・地域は、どのような歩みを経て、経済成長を遂げてきたのだろうか。	①東アジアの経済急成長の歩み、市場経済の導入で成長した中国、世界の工場から世界の市場への発展について理解している。 ②東アジアの経済急成長の歩み、市場経済の導入で成長した中国、世界の工場から世界の市場への発展について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③東アジアの経済急成長の歩み、市場経済の導入で成長した中国、世界の工場から世界の市場への発展について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 学期	10	33	p.134-135	2 経済成長による中国の生活の変化	経済成長によって、中国の人々の生活はどのように変化したのだろうか。	①経済成長と生活の変化、経済格差と人口の移動、深刻な環境問題について理解している。 ②経済成長と生活の変化、経済格差と人口の移動、深刻な環境問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③経済成長と生活の変化、経済格差と人口の移動、深刻な環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 学期	10	34	p.136-137	3 経済成長による韓国の生活の変化	経済成長によって、韓国の人々の生活はどのように変化したのだろうか。	①進んだネット社会と首都圏への一極集中、現代に息づく韓国の伝統文化、経済成長の背景と日韓交流の深まりについて理解している。 ②進んだネット社会と首都圏への一極集中、現代に息づく韓国の伝統文化、経済成長の背景と日韓交流の深まりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③進んだネット社会と首都圏への一極集中、現代に息づく韓国の伝統文化、経済成長の背景と日韓交流の深まりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
追究事例 産業3 地域統合が人々の生活や産業に与える影響 -ヨーロッパ-				主題 ヨーロッパでは、二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合が進められている。EUの統合によって、ヨーロッパの人々の生活文化はどのように変化したのだろうか。		
2 学期	10	32	p.138-139	1 EU統合と人々の生活	ヨーロッパの国々が、国境を越えた結び付きを強めているのはなぜだろうか。	①国境を自由に移動できる生活、キリスト教に根ざした文化、EU統合への歩みとその背景について理解している。 ②国境を自由に移動できる生活、キリスト教に根ざした文化、EU統合への歩みとその背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国境を自由に移動できる生活、キリスト教に根ざした文化、EU統合への歩みとその背景について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 学期	10	33	p.140-141	2 EU統合による農業への影響	EUの統合は、ヨーロッパの農業にどのような影響を与えているのだろうか。	①地域で異なる食文化と農業、EUの共通農業政策の影響と課題について理解している。 ②地域で異なる食文化と農業、EUの共通農業政策の影響と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域で異なる食文化と農業、EUの共通農業政策の影響と課題について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 学期	10	34	p.142-143	3 EU統合による工業や社会への影響	EUの統合は、ヨーロッパの工業や社会にどのような影響を与えたのだろうか。	①EU統合で発展した航空機産業、移り変わる工業地域、国境を越える労働力について理解している。 ②EU統合で発展した航空機産業、移り変わる工業地域、国境を越える労働力について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③EU統合で発展した航空機産業、移り変わる工業地域、国境を越える労働力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

学期	月	時限	教科書ページ	項目(タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
第2章 地球的課題と国際協力 第2章の目標 ①世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 ②世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 ③世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ④地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。						
第2章の評価規準 ①世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 ②世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 ③世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ④地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
1節 複雑に絡み合う地球的課題 節の主題 現代世界には、さまざまな地球的課題が存在する。これらの課題の背景には何があるのだろうか。また、課題の解決に向けて、私たちに何ができるのだろうか。						
2学期	10	35	p.146-147	1 相互に関連する地球的課題とその解決に向けて	地球的課題の解決に向けて、どのような取り組みが行われているのだろうか。	①地球的課題の背景にある経済格差、地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて理解している。 ②地球的課題の背景にある経済格差、地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球的課題の背景にある経済格差、地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2節 地球環境問題 節の主題 私たちが住む地球の各地では、人間の経済活動などにより、さまざまな地球環境問題が生じている。世界ではどのような地球環境問題がみられ、どのような取り組みが行われているのだろうか。						
2学期	10	36	p.150-151	1 多様な地球環境問題	地球環境問題にはどのような種類があり、どのような原因で発生するのだろうか。	①地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について理解している。 ②地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2学期	10	37	p.152-153	2 熱帯林の破壊への対策	熱帯林の破壊は、どこで、どのような理由で進行しているのだろうか。	①熱帯林破壊が進行する地域とその理由、インドネシアでの取り組みについて理解している。 ②熱帯林破壊が進行する地域とその理由、インドネシアでの取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③熱帯林破壊が進行する地域とその理由、インドネシアでの取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2学期	10	38	p.154-155	3 地球温暖化への対策	地球温暖化はなぜ起こり、環境にどのような影響を及ぼすのだろうか。	①地球温暖化の原因と影響、地球温暖化の対策と課題、モルディブでの取り組みについて理解している。 ②地球温暖化の原因と影響、地球温暖化の対策と課題、モルディブでの取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球温暖化の原因と影響、地球温暖化の対策と課題、モルディブでの取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3節 資源・エネルギー問題 節の主題 私たちが日常生活を営むうえで、資源やエネルギーは欠かせない。世界の資源やエネルギーの利用にはどのような課題があるのだろうか。また、持続可能なエネルギーの利用方法とは、どのようなものだろうか。						
2学期	10	39	p.158-159	1 世界のエネルギー・鉱産資源	エネルギー資源や鉱産資源は、どのように利用されているのだろうか。	①エネルギーの種類と資源利用の変化、国によって異なる電力構成、鉱産資源の利用について理解している。 ②エネルギーの種類と資源利用の変化、国によって異なる電力構成、鉱産資源の利用について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③エネルギーの種類と資源利用の変化、国によって異なる電力構成、鉱産資源の利用について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2学期	11	40	p.160-161	2 エネルギー利用の現状と課題	エネルギーの利用にはどのような課題があり、どのように解決したらよいのだろうか。	①エネルギーの生産と消費の不均衡、エネルギー問題の解決に向けての取り組みについて理解している。 ②エネルギーの生産と消費の不均衡、エネルギー問題の解決に向けての取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③エネルギーの生産と消費の不均衡、エネルギー問題の解決に向けての取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2学期	11	41 42	p.162-163	3 地域で異なるエネルギー問題への取り組み	各地のエネルギー問題への取り組みには、どのような特徴があるのだろうか。	①バイオエタノールに力を入れるブラジルの取り組み、洋上風力発電に力を入れるデンマークの取り組みについて理解している。 ②バイオエタノールに力を入れるブラジルの取り組み、洋上風力発電に力を入れるデンマークの取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③バイオエタノールに力を入れるブラジルの取り組み、洋上風力発電に力を入れるデンマークの取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
4節 人口問題 節の主題 世界の人口分布には偏りがあり、人口増加の傾向や人口構成も、国や地域によって異なっている。世界には、国や地域によってどのような人口問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。						
2学期	11	43	p.166-167	1 世界の人口	世界の人口分布や人口増加には、どのような傾向がみられるのだろうか。	①世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミッドからみる国や地域人口の特徴について理解している。 ②世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミッドからみる国や地域人口の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の人口分布と人口増加の傾向、人口ピラミッドからみる国や地域人口の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2学期	11	44	p.168-169	2 発展途上国と先進国の人口問題	発展途上国と先進国の人口問題には、どのような違いがあるのだろうか。	①発展途上国の人口問題、先進国の人口問題、人口移動と移民について理解している。 ②発展途上国の人口問題、先進国の人口問題、人口移動と移民について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③発展途上国の人口問題、先進国の人口問題、人口移動と移民について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2学期	11	45 46	p.170-171	3 地域で異なる人口問題への取り組み	人口問題への取り組みは、インドとフランスでどのように異なるのだろうか。	①インドでの人口増加抑制の取り組み、フランスでの人口増加維持の取り組みについて理解している。 ②インドでの人口増加抑制の取り組み、フランスでの人口増加維持の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③インドでの人口増加抑制の取り組み、フランスでの人口増加維持の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
5節 食料問題 節の主題 世界には飢餓に苦しむ人がいる一方で、飽食が問題になっている国もある。このような食料供給の偏りが生じるのはなぜだろうか。また、食料問題を解決するためには、どのような取り組みが必要だろうか。						
2学期	12	47	p.174-175	1 飢餓と飽食	飢餓や飽食は、どのような問題なのだろうか。また、なぜ発生するのだろうか。	①発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について理解している。 ②発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2学期	12	48 49	p.176-177	2 地域で異なる食料問題への取り組み	食料問題への取り組みは、地域によってどのような違いがあるのだろうか。	①食料の増産を目指すウガンダの取り組み、食品ロスの解決を目指すアメリカ合衆国の取り組みについて理解している。 ②食料の増産を目指すウガンダの取り組み、食品ロスの解決を目指すアメリカ合衆国の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③食料の増産を目指すウガンダの取り組み、食品ロスの解決を目指すアメリカ合衆国の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
6節 都市・居住問題 節の主題 世界にはさまざまな規模の都市があり、近年は、世界の各地域で都市人口が急増している。世界には、国や地域によってどのような都市・居住問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。						

学期	月	時限	教科書ページ	項目(タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
2 学期	12	50	p.180-181	1 世界の都市の発展	世界の都市の発達や大都市の分布には、どのような傾向があるのだろうか。	①都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について理解している。 ②都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 学期	12	51	p.182-183	2 発展途上国と先進国の都市・居住問題	発展途上国と先進国の都市・居住問題には、どのような違いがあるのだろうか。	①発展途上国の都市・居住問題、先進国の都市・居住問題について理解している。 ②発展途上国の都市・居住問題、先進国の都市・居住問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③発展途上国の都市・居住問題、先進国の都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2 学期	12	52 53	p.184-185	3 地域で異なる都市・居住問題への取り組み	都市・居住問題への取り組みは、メキシコシティとポートランドでどのように異なるのだろうか。	①メキシコシティの都市・居住問題への取り組み、ポートランドの都市・居住問題への取り組みについて理解している。 ②メキシコシティの都市・居住問題への取り組み、ポートランドの都市・居住問題への取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③メキシコシティの都市・居住問題への取り組み、ポートランドの都市・居住問題への取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
第3部 持続可能な地域づくりと私たち						
第1章 自然環境と防災						
第1章の目標 ①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。						
第1章の評価規準 ①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
1節 日本の自然環境						
世界や日本の各地で発生する自然災害は、その地域の地形や気候といった自然環境と密接に結び付いている。日本の地形や気候には、どのような特徴があるのだろうか。						
3 学期	1	54	p.190-191	1 日本の地形	日本の地形にはどのような特徴があり、どのようにして形成されたのだろうか。	①プレートが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野について理解している。 ②プレートが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③プレートが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野について、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学期	1	54	p.192-193	2 日本の気候	日本の気候にはどのような特徴があり、地域差はどのようにして生じているのだろうか。	①明確な季節変化、降水量の季節変化と地域差、日本の都市気候について理解している。 ②明確な季節変化、降水量の季節変化と地域差、日本の都市気候について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③明確な季節変化、降水量の季節変化と地域差、日本の都市気候について、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
2節 地震・津波と防災						
変動帯に位置する日本は、数多くの地震によってさまざまな被害を受けてきた。地震や津波は、どのような被害をもたらすのだろうか。また、地震や津波の発生に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。						
3 学期	1	55	p.194-195	1 地震・津波による災害	地震・津波による被害は、地域によってどのような違いが生じるのだろうか。	①地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について理解しており、地理的技能を身に付けている。 ②地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学期	1	56 57	p.196-198	2 地震・津波の被災地の取り組み	地震・津波に対して、どのような防災・減災の取り組みが行われているのだろうか。	①東日本大震災と防災の取り組み、阪神・淡路大震災と防災の取り組みについて理解しており、地理的技能を身に付けている。 ②東日本大震災と防災の取り組み、阪神・淡路大震災と防災の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③東日本大震災と防災の取り組み、阪神・淡路大震災と防災の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3節 火山災害と防災						
火山の多い日本では、火山からさまざまな恵みを受けるとともに、噴火によって多大な被害を受けてきた。火山はどのような恵みや災害をもたらすのだろうか。また、火山災害に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。						
3 学期	1	58	p.200-201	1 火山の恵みと災害	火山は、人々の生活にどのような恵みや災害をもたらすのだろうか。	①火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴について理解しており、地理的技能を身に付けている。 ②火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学期	1	59 60	p.202-204	2 火山と共生する地域の取り組み	火山と共生していくためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。	①火山の恵み・災害と共生する島原市の取り組み、火山灰と共生する鹿児島市の取り組みについて理解しており、地理的技能を身に付けている。 ②火山の恵み・災害と共生する島原市の取り組み、火山灰と共生する鹿児島市の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③火山の恵み・災害と共生する島原市の取り組み、火山灰と共生する鹿児島市の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
4節 気象災害と防災						
日本では毎年のように気象災害が発生している。これらの気象災害にはどのような種類があり、どのような被害をもたらすのだろうか。また、気象災害に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。						
3 学期	2	61	p.206-207	1 さまざまな気象災害	気象災害は、場所によってどのような違いがあるのだろうか。	①地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について理解しており、地理的技能を身に付けている。 ②地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学期	2	62 63	p.208-210	2 気象災害への取り組み	気象災害に対して、どのような取り組みや課題がみられるのだろうか。	①台風による水害の課題と取り組み、大雪による積雪の影響と取り組みについて理解しており、地理的技能を身に付けている。 ②台風による水害の課題と取り組み、大雪による積雪の影響と取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③台風による水害の課題と取り組み、大雪による積雪の影響と取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
5節 自然災害への備え						
日頃から自然災害に備えることで、被害を軽減することができる。自然災害への日頃の備えには、どのようなものがあるのだろうか。また、災害発生時の危機管理体制は、どのように整備されているのだろうか。						
3 学期	2	64	p.212-213	1 減災の取り組み	自然災害の被害を減らすためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。	①災害の被害を軽減するための取り組み、防災情報の活用、巨大地震への備えについて理解しており、地理的技能を身に付けている。 ②災害の被害を軽減するための取り組み、防災情報の活用、巨大地震への備えについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③災害の被害を軽減するための取り組み、防災情報の活用、巨大地震への備えについて、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学期	2	65 66	p.214	2 被災地への支援	自然災害の被災地には、どのような支援が必要なのだろうか。	①被災地の自助・共助・公助、復旧・復興の取り組みについて理解しており、地理的技能を身に付けている。 ②被災地の自助・共助・公助、復旧・復興の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③被災地の自助・共助・公助、復旧・復興の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそどこみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

学期	月	時限	教科書ページ	項目(タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
				第2章 生活圏の調査と地域の展望	第2章の目標 ①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 ②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	第2章の評価規準 ①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 ②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
				1節 生活圏の調査と地域の展望	節の主題 私たちの生活圏には、多岐にわたる地理的な課題がみられる。生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていけばよいのだろうか。	
3 学期	3	67	p.220-221	1 地理的な課題と地域調査	生活圏の地理的な課題を探究するためには、どのように調査を始めればよいのだろうか。	①地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について理解している。 ②地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学期	3	68	p.222-223	2 現地調査の準備	現地調査の前には、どのように事前調査や調査計画の作成を行えばよいのだろうか。	①事前調査の方法、仮説の設定と調査計画の作成について理解している。 ②事前調査の方法、仮説の設定と調査計画の作成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③事前調査の方法、仮説の設定と調査計画の作成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学期	3	69	p.224	3 現地調査の実施	現地調査を効率的に行うには、どのような準備や行動が必要だろうか。	①現地調査の方法について理解している。 ②現地調査の方法について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現地調査の方法について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学期	3	70	p.226	4 調査の分析と発表	調査結果をまとめて発表する際には、どのような工夫をしたらよいのだろうか。	①調査結果の分析と仮説の検証、調査結果のまとめ・発表の方法について理解している。 ②調査結果の分析と仮説の検証、調査結果のまとめ・発表の方法について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③調査結果の分析と仮説の検証、調査結果のまとめ・発表の方法について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。